《第103回》令和四年一月の作品

〈一月十四日（金）　於・文京シビックセンター５Ｄ〉

初競りの一番まぐろ沸く豊洲　（孝昭）

淑気満つ真白き富士や日本晴　（奉男）

朝まだき街に一声初鴉　（隆治）

大雪の北国のこと案じをり　（平六）

新年の写真の吾はいつも端　（前歩）

新年や先づ一族は恙なし　（清助）

緊張の身に底冷えの手術室　（一江）

大寒や子に追伸で火の始末　（芙紗）

初春や無事なる喜寿を迎へんと　（貴美）

伝統を地域で守るどんど焼　（正佳）

正月の戸口に弾む孫の声　（正雄）